

NCMS-2250

NSTB2000シリーズ対応 中央管理サーバー

■ 主な特長

[最大250台のメディアプレーヤーをグローバル環境で集中管理]

2000シリーズの中央管理サーバー (CMS) は、1台で最大250台の2000シリーズメディアプレーヤーを集中管理することができます。コンテンツの管理やスケジュールの設定、緊急コンテンツの一括配信など、デジタルサイネージシステムをグローバル環境で運用可能です。専用ソフトウェアを使用することで、CMSとメディアプレーヤーの監視や運用レポートの作成も可能です。

[グループの細分化で、データやスケジュールを効率的に集中管理]

2000シリーズの中央管理サーバー (CMS) では、再生に必要なスケジュールやデータ (コンテンツデータ・素材データ) をグループ毎に一括更新することができます。また、グループにはサブグループを作成でき、親となるグループのデータを同期します。同期したデータでコンテンツを再生したり、サブグループで新たに作成したデータと組み合わせたコンテンツ再生が可能です。グループの細分化により、データやスケジュールを効率的に集中管理できます。

[コンテンツの作成と集中管理]

CMSからコンテンツの作成・保存が可能で、いつでも任意のプレーヤーに配信できます。配信したコンテンツはプレーヤー側にも保存され、CMS側の接続が切れてもプレーヤーの表示が止まることはありません。

[各アカウントに適切な管理権限を割り当て]

ユーザー毎にアカウントを作成でき、CMSで設定したグループ毎に管理権限の割り当てを行えます。パスワードによる承認により安全な分散管理が可能になります。

[緊急コンテンツの配信]

選択したグループに対して災害時に配信する緊急コンテンツや、タイムセール等の特定の時間に配信するコンテンツを一斉配信できます。スケジュールを無視して、すぐに配信可能です。

[オプションの専用ソフトウェアで各メディアプレーヤーの細かい管理・リサーチ]

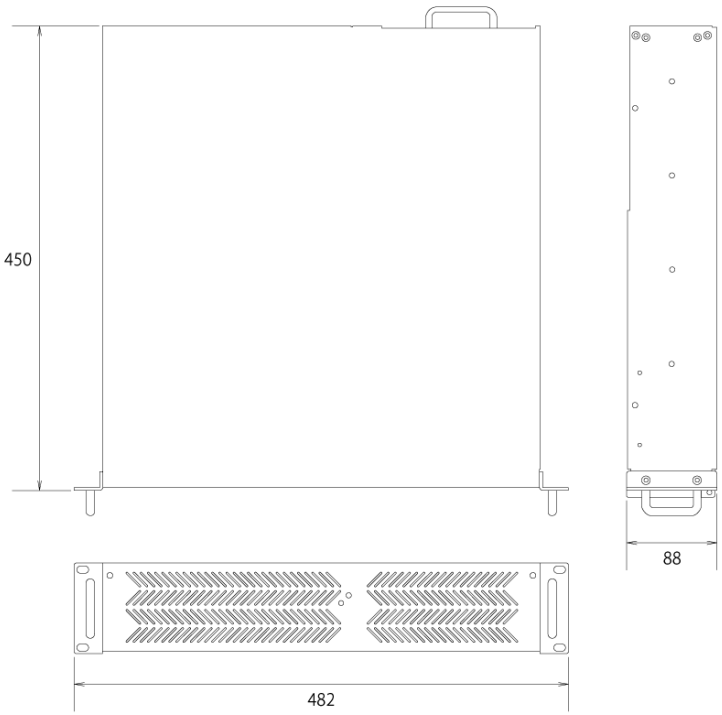
オプションの専用ソフトウェアと組合せて、SuperMonitor4でCMSとCMSに接続されている複数のメディアプレーヤーの監視と構成を同時に行い、SuperReporter2でパフォーマンス分析や請求書作成を支援する運用レポートを作成できます。

■ 技術仕様

システム仕様	
オペレーティングシステム	Linux
ユーザーアカウント	アカウント数は無制限に作成可能

ビデオストリーミングサーバー	―
コンテンツの更新と管理	Windows(R) LAN (共有フォルダ) またはFTP経由でファイルを更新グループおよび集合 (複数のグループを集めたもの) 内にあるプレーヤーを管理フォルダをグループごとに割り当て可能250台までのプレーヤー (2000シリーズ) を同時に管理可能
スケジュールの集中管理	週単位の再生、単発の再生 マルチメディア (ビデオ) スライドショー テロップ プログラム Webプレイリスト 音量 緊急イベント
ネットワーク	プロトコル：IP、TCP、UDP、ICMP、HTTP、DHCP、RTB、SMB/CIFS、FTP 10/100/1000Mbpsイーサーネット
ディスプレイ	VGA D-SUB
ハードウェア仕様	
内蔵HDD	320GB　3.5" SATA HDD×1または2 (RAID1)　※容量はユーザー指定
ビデオ入力	―
音声入力	―
コネクタ	RJ45×1 (イーサーネット用) USB2.0×2VGA D-SUB×1PS/2×2 (キーボード/マウス用)
外形寸法	482 (幅) ×88 (高) ×450 (奥) mm
外観仕様	スチール
重量	13.5kg
その他	
付属品	SuperMonitor4 (1ライセンス)

■ 寸法図



単位 mm